

# 「さあ手を打ち鳴らし」

(詩篇47:1 ネヘミヤ8:10)

さあ手をうちならし 主のみまえに行こう

この日は聖なる日 この日は聖なる日  
主のみまえに行こう

天地を造られた 主のみまえで歌おう  
この日は聖なる日 この日は聖なる日  
主のみまえで歌おう

## 132 心静かに

心静かに 主のみことばを待つ

心静かに 主のみことばを待つ

うるわしい 主のみことば

したわしい 主のみことば

新聖歌40番 「ガリラヤの風かおる丘で」

- 1 ガリラヤの風かおる丘で 人々に話された  
恵みのみことばを わたしにも聞かせてください
- 2 嵐の日 波たける湖(うみ)で 弟子たちにさとされた  
力のみことばを わたしにも聞かせてください
- 3 ゴルゴタの十字架の上で 罪人をまねかれた  
救いのみことばを わたしにも聞かせてください
- 4 夕暮れのエマオへの道で 弟子たちに告げられた  
いのちのみことばを わたしにも聞かせてください

アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌248番 「 人生の海の嵐に 」

- 1 人生の海の嵐に もまれ来(き)しこの身も  
不思議なる神の手により いのちびろいしぬ  
\* いと静けき港に着き われは今 安(やす)ろう  
救い主イエスの手にある 身はいとも安し
- 2 悲しみと罪の中より 救われしこの身に  
いざないの声もたましい ゆすぶること得(え)じ  
\* (くりかえし)
- 3 すさまじき罪の嵐の もてあそぶまにまに  
死を待つはたれぞ直ちに 逃げ込め港に  
\* (くりかえし) アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの  
おお みかみに

ときわに たえせず  
みさかえあれ  
みさかえあれ  
アーメン